ネットワークカメラ モニタリングユニット

品番 エルーアⅡ シリーズ

取扱説明書

保証書付き

目次

はじめに

設置・設定編

操作編

付録

本書中に記載している別売り品などの情報は 2015 年 10 月現在のものです。
最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

Printed in Japan 2015.10

はじめに

エルーアⅡシリーズ概要

エルーアⅡシリーズは、最大８台（YS-1500 は４台まで）のネットワークカメラ（以下、カメラ）の画像をモニタリングすることができるネットワークカメラ モニタリングユニットです。

エルーアⅡシリーズには以下の機種があり、機能が各々異なります。

品番	登録カメラ数	ライブ音声 ※1	録画 ※2	マルチキャスト受信対応
YS-1500	４台	×	○	×
YS-2000	８台	○	○	×
YS-2000 M	８台	○	×	×
YS-2000MC	８台	(○)	×	○

※１：弊社指定カメラを H.264/ ユニキャスト、または H.264（インターネット）で使用した時のみ
※２：弊社推奨 HDD を接続する必要があります。

エルーアⅡシリーズは、本体ハードウェア上の差異はございません。

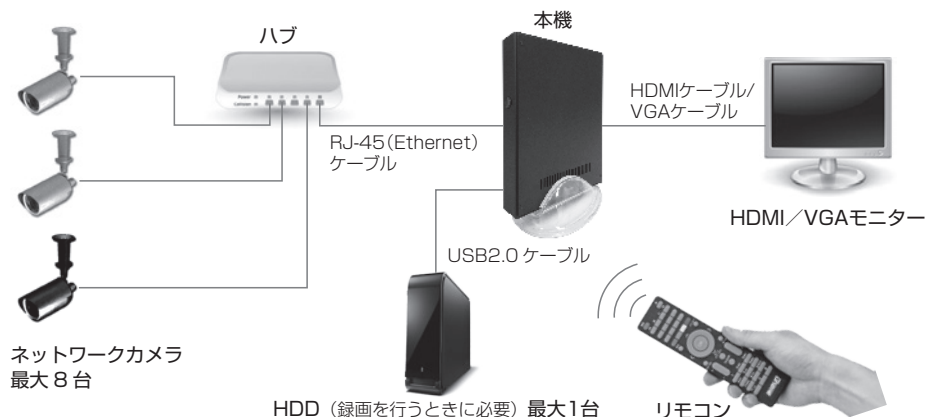
YS-2000MC

マルチキャスト対応モデルは、Panasonic（i-pro)、SONY、AXIS、JVC ケンウッド社製のネットワークカメラのマルチキャスト配信に対応しています（弊社指定カメラのみ)。マルチキャスト対応検証済みのカメラは、標準品とは異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

ネットワークカメラのマルチキャスト設定には別途、PC にてカメラの設定変更が必要です。

マルチキャストでのネットワーク・システム設計には、マルチキャスト制御のネットワーク知識が必要です。ネットワーク技術者のサポートのもと、正しく設定ください。

本書は YS-2000 を基に記載されています

システム構成

■ 付属品をご確認ください

・取扱説明書（本書）保証書付き
・ACアダプター、電源ケーブル
・スタンド
・リモコン
・ゴム足（4つ）
・単４形乾電池（試供品として2本）

■ 商標および登録商標について

・aileunおよびエルーアは、株式会社エルーア・システムの登録商標です。
・HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国および その他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
・その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

■ 略称について

本書では以下の略称を使用しています。
・ネットワークカメラをカメラと表記しています。
・スイッチングハブや、PoEハブをハブと表記しています。
・USB接続型外付けハードディスクドライブをHDDと表記しています。
・USB2.0ケーブルをUSBケーブルと表記しています。
・HDMI1.3a以上準拠ケーブルをHDMIケーブルと表記しています。

■ GPL ／ LGPL について

・本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれます。
・お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
・なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 著作権について

GPL ／ LGPL その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本機に含まれるソフトウェア（当社が許諾を受けているソフトウェアを含みます。なお、当該第三者を以下「原権利者」とします）の著作権は、当社、および原権利者に帰属し、ソフトウェアの譲渡・コピー・逆アセンブル・逆コンパイル・リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本機に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

・弊社は如何なる場合も、以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 (1) 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的阻害、および被害
 (2) お客様の誤使用や不注意による損害または本機の破損など
 (3) お客様による本機の分解、修理または改造がされた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 (4) 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
 (5) 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 (6) お客様による監視画像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とする如何なる損害賠償請求、クレームなど
 (7) 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

・なお本機は、カメラで監視している画像の録画と再生を行うことができますが、本機単独で犯罪などを防止するものではありません。

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受ける可能性が考えられます。
 (1) 本機を経由した情報の漏えいや流出
 (2) 悪意を持った第三者による本機の不正操作
 (3) 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止
このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策を含め、ネットワーク・セキュリティ施策を十分に行ってください。
・ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する
・管理パスワードは、定期的に変更する

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します（経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください)。
法律に従って、画像情報を適正にお取り扱いください。

安全上のご注意

本書は、『設置・設定編』、『操作編』の二部からなっています。

本書の中で人への危害、財産への損害を防止するために、下記のような目印をつけています。
これを無視した誤った使い方は、事故や損害の危険がありますので、十分ご注意ください。

本機の仕様やご注意に関しては、巻末をお読みください。

本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告無しに変更される事があります。

また、本書には正確な情報を記載するようにしておりますが、万が一、誤りや不正確な記述があったときにも、弊社はいかなる責任、責務も負わないものとします。

禁 止

してはいけない「禁止」内容です。

注 意

負傷や損害等が発生する可能性が想定される内容です。

情 報

作業・操作時に参考になりそうな内容です。

取扱い上のお願い

使用上のお願い

使用電源

消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。電源ケーブル、および AC アダプターは本機専用です。

使用温度範囲

本機の使用温度範囲は 0℃～ +40℃です。この温度範囲外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。

内蔵バックアップ電池

- 初めて使用するときは、48 時間以上の連続通電をして、内蔵のバックアップ電池を充電してください。電池の充電が不十分な場合、停電の時に内部時計の時刻がずれたり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。
- 内蔵バックアップ電池の消耗目安は 5 年です（使用条件によって異なります）。5 年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。寿命が過ぎると、電源を切ったときに時刻設定の内容などが保存されません。
- 内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

結露について

結露が発生すると故障の原因となりますのでご注意ください。
以下のような場合は、数時間程度放置して、結露がない状態にしてください。

- 湿度の高いところ。
- 暖房した直後の部屋。
- 冷房されているところから、温度や湿度の高いところに移動したとき。

使用するモニターについて

モニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

長時間使用しない場合
機能に支障をきたす場合がありますので、1週間に1回程度、電源を入れて正しく動作することを確認してください。

お手入れについて
・電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。ほこりが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布に染み込ませ、固く絞ってから軽く拭いてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全に拭きとってください。
・シンナーやベンジンなど、揮発性の高いものは使用しないでください。
・化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

機器を譲渡・廃棄される場合
本機と共に使用する記憶媒体に記録された情報は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合は、その取扱に十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

AVC Patent Portfolio Licenseについて
本機はAVC Patent Portfolio Licenseに基づき、以下の行為に関わる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
(1) 画像情報をH.264ビデオ規格に準拠して（「H.264ビデオ」）エンコードすること。
(2) 個人使用として記録されたH.264ビデオおよび、またはライセンスを受けているプロバイダーから入手したH.264ビデオを再生すること。詳細についてはhttp://www.mpegla.comをご参照ください。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。本機は屋内専用です。

以下の場所には設置しないでください
・直射日光の当たる場所
・振動の多い場所や衝撃が加わる場所
・スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
・結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
・厨房など蒸気や油分の多い場所
・傾斜のある場所
・ほこりがたまりやすい場所
・水滴や水しぶきがかかる場所
・本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所

放熱について
内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。
・通気口が塞がれないように、設置場所にはお気をつけください。埃や塵などで通気口が塞がると、内蔵の放熱ファンが正常に働かなくなります。
・放熱ファンは消耗品です。約20000時間を目安に交換してください。交換は販売店に御依頼ください。
・機器の側面、背面は壁面や他機器から10cm程度あけてください。

横置き設置について
側面の通気口を下面になるように設置し、底面や背面の通気口を塞がないようにご注意ください。付属のゴム足（４つ）を取り付けて設置ください。

雑音源は避けてください
電灯線や冷蔵庫など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

リモコンについて
本機を複数台設置するなど、他のリモコン機器と合わせて設置するときには、リモコン操作が他の機器に影響しないように間隔を空けるなどして設置してください。

電源に関するご注意

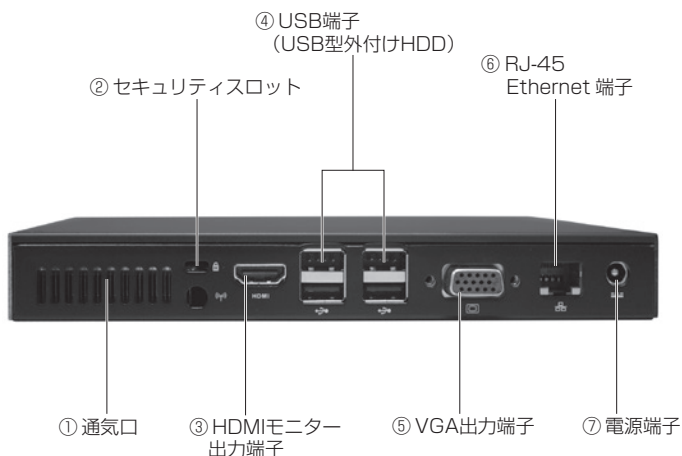
電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。
故障、断線の恐れがありますので、ご注意ください。

本機に付属された電源ケーブル、および AC アダプター以外は使用しないでください。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の恐れがありますので、ご注意ください。

設置・設定編

各部の名称と働き

背　面

① 通気口　：本機の通気口です。ふさがないでください。
② セキュリティスロット　：市販のセキュリティーワイヤーを取り付けることができます。
③ HDMIモニター出力端子　：HDMIモニターを接続します。
④ USB端子　：HDDやUSBメモリーを接続します。
⑤ VGA出力端子　：VGAモニターを接続します。
⑥ RJ-４５Ethernet端子　：本機とハブを接続します。
⑦ 電源端子　：本機と付属のACアダプターを接続します。

正　面

⑧ リモコン受光部　：リモコンの受光部です。リモコンの送信部をこの受光部に向けて操作を行ってください。

⑨ 電源ボタン　：本機の電源を入れます。モニタリング中に使用すると、電源を切ることができます。

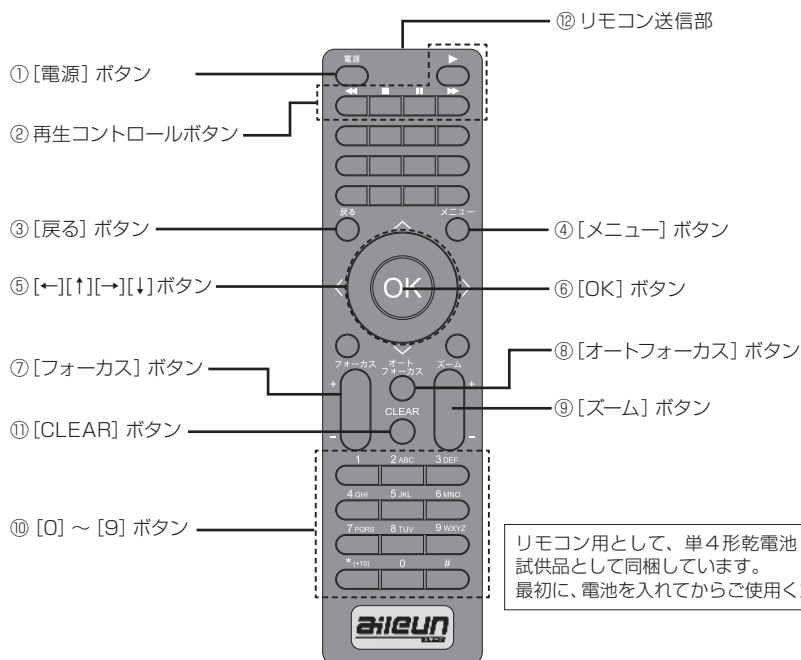
⑩ スタンド　：本機を立てるスタンドです。平らな場所をお選びください。

⑪ LED　：通電時に点灯します。リモコンの受光時には、一部点滅します。

天　面

⑫音声出力ミニジャック　：設定により音声が出力されます。アンプ、またはアンプ付きスピーカーを接続します。

⑬（使用しません）

リモコン

上図で数字のないボタンは、本機では使用しません。

① [電源] ボタン ：本機の電源を入れます。
また、モニタリング中に使用すると電源を切ることができます。

② 再生コントロールボタン ：録画した画像を再生するときに使用します。

③ [戻る] ボタン ：シーケンス表示するときに使用します。
また、各メニューで入力をキャンセルするときにも使用します。

④ [メニュー] ボタン ：メニューを表示するときに使用します。

⑤ [←] [↑] [→] [↓] ボタン ：カメラのパン／チルト操作に使用します。
また、各メニューでカーソル位置を移動するときにも使用します。

⑥ [OK] ボタン ：カメラを分割画面で表示するときに使用します。
また、各メニューで選択を確定するときにも使用します。

⑦ [フォーカス] ボタン ：カメラのフォーカス操作に使用します。

⑧ [オートフォーカス] ボタン ：カメラのオートフォーカス機能を実行するときに使用します。

⑨ [ズーム] ボタン ：カメラのズーム操作に使用します。

⑩ [0]〜[9] ボタン ：カメラを単画面で表示するときに使用します。
また、各メニューで数字や文字を入力するときに使用します。

⑪ [CLEAR] ボタン ：各メニューで入力内容をクリアするときに使用します。

⑫リモコン送信部 ：本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

モニタリングまでの流れ

本機でモニタリングを行うためには以下の流れで設置・設定を行います。
各項目の具体的な設置・設定方法については項目内の参照ページをお読みください。

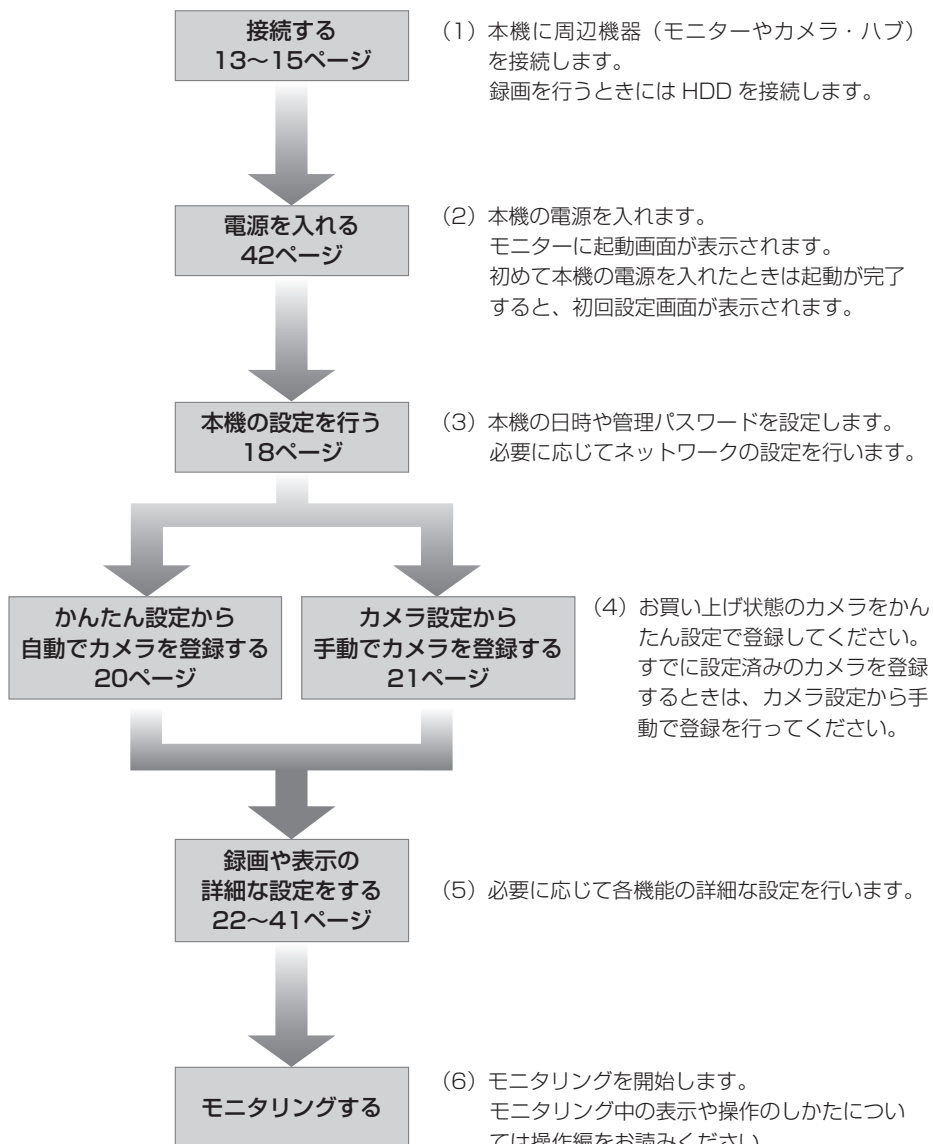
（1）本機に周辺機器（モニターやカメラ・ハブ）を接続します。
録画を行うときにはHDDを接続します。

（2）本機の電源を入れます。
モニターに起動画面が表示されます。
初めて本機の電源を入れたときは起動が完了すると、初回設定画面が表示されます。

（3）本機の日時や管理パスワードを設定します。
必要に応じてネットワークの設定を行います。

（4）お買い上げ状態のカメラをかんたん設定で登録してください。
すでに設定済みのカメラを登録するときは、カメラ設定から手動で登録を行ってください。

（5）必要に応じて各機能の詳細な設定を行います。

（6）モニタリングを開始します。
モニタリング中の表示や操作のしかたについては操作編をお読みください。

モニターを接続する

本機はHDMIモニター、またはVGAモニターでモニタリングを行います。
HDMIケーブル、またはVGAケーブルで本機とモニターを接続します。

HDMIモニター：1080pに対応していること
VGAモニター ：1024×768 以上

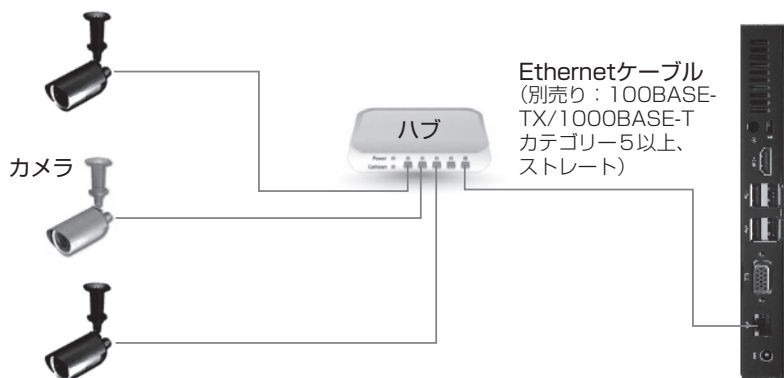
VGA モニターと HDMI モニターを同時に接続した場合、正しく表示できないことがあります。

モニターを必ず接続してください。本機が起動しません。

分配器や延長器を使用してモニターに接続するときには、推奨品をお使いください。
推奨品以外では、本機の画面が正しく表示されないことがあります。
分配器・延長器の推奨品は、サポートサイトをご確認ください。
サポートサイトについては、65 ページをお読みください。

HDMI ケーブル及び VGA ケーブルは、規格以上の延長を行うと、ディスプレイからの EDID 信号などを読み取れない場合があります。その場合、本機の画面が正しく表示されないことがあります。

カメラを接続する

本機でモニタリングを行うカメラを接続します。
本機、および最大8台（YS-1500は4台まで）のカメラをハブ経由で接続します。
接続にはEthernetケーブル（ストレート）を使用します。

本機では、HTTP プロキシを使用したネットワーク環境では、カメラ接続をすることはできません。

本機をすでにお使いのネットワークに組み込むときには、ネットワークの決まりに従い正しく設定を行う必要があります。

推奨品以外のカメラを接続しないでください。
本機が正しく動作できません。

本機とカメラを接続するハブはスイッチングハブを使用してください。

HDDを接続する

本機にHDDを接続するとHDDにカメラの画像を録画することができます。
カメラの画像を録画するときは、HDDと本機をUSBケーブルで接続します。

カメラの画像を録画しないときは、HDD を接続する必要はありません。

本機の電源を入れたまま HDD の電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。
録画や再生ができなくなります。

本機以外で使用した HDD はそのまま使用しないでください。
録画や再生ができなくなります。

USB ポートについては以下のことを守ってください。
- USB コネクターや本機に無理な力をかけないでください。破損の原因になります。
- USB コネクターの向きを確認して正しく接続してください。
- HDD は複数台接続しないでください。
- USB 電源を使用した HDD は接続しないでください。

EXT4形式でフォーマットされたHDDを使用してください。
お買い上げ状態のHDDは、必ずフォーマットが必要です。
HDDのフォーマットについては41ページをお読みください。

HDD は持ち出せないように設置してください。
セキュリティーワイヤーなどを使って、盗難などに気をつけてください。

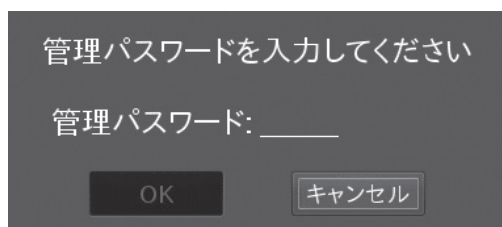
推奨品以外の HDD を使用しないでください。録画や再生ができないことがあります。
本機の推奨品 HDD については、サポートサイトをご確認ください。
（サポートサイトについては、65 ページをお読みください）

本機で録画を行うためには、別途録画設定を行う必要があります。
録画設定については 24 ページをお読みください。

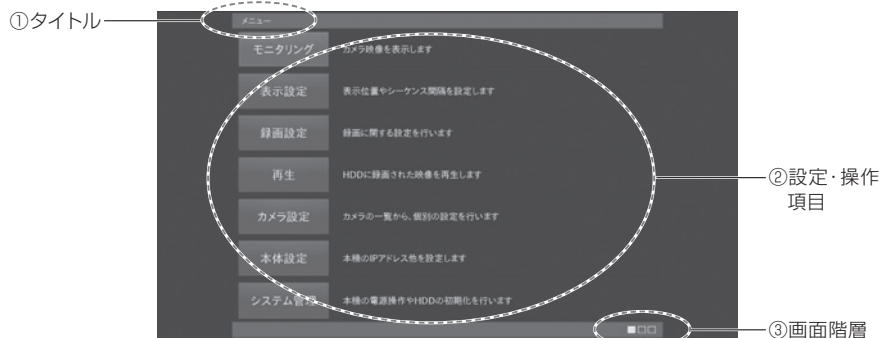
メニューについて

本機の設定や、再生などの操作はメニューから行います。
ここではメニューの概要と操作方法を説明します。

メニューの表示のしかたについて

1．リモコンの[メニュー]ボタンを押します。
2．管理パスワードを入力するメッセージが表示されます。

3．リモコンの [0] ～ [9] ボタンを使用して、５桁の管理パスワードを入力します。
（管理パスワードの初期設定値：11111）
4．「OK」を押すと、メニューが表示されます。

i お買い上げ後、初めて電源を入れたときは初回設定画面が表示されます。
本操作は不要です。

メニュー画面について

① **タイトル**　　　：メニューの各タイトルを表示します。
② **設定・操作項目**：各メニューの設定・操作項目が表示されます。
現在のカーソル位置は水色で表示されます。
③ **画面階層**　　　：現在のメニュー階層を表示します。
メニュー階層が深いほど■の位置が右に表示されます。

基本的なメニュー操作のしかたについて

メニュー画面の操作はリモコンを使用して行います。
ここではメニューの基本的な操作のしかたについて説明します。

■項目を選択する

[↑][→][↓][←] ボタンを使用して項目を選択します。

■項目内容を変更する

1. 変更を行いたい項目を選択して[OK]ボタンを押します。
2. 項目内容を選択するときは[↑][↓]ボタンを使用して変更したい内容に変更します。
   また、項目を入力するときには[0]～[9]ボタンを使用して、文字や数字の入力を行います。
   ※文字の入力については「リモコンからの文字入力」をお読みください。
3. 項目の選択や入力が完了したら再度[OK]ボタンを押して入力した内容を確定します。

i 項目の変更中に変更内容をキャンセルする場合は、[戻る] ボタンを押します。

■項目内容を設定保存する（設定項目のみ）

1. [↑][→][↓][←] ボタンを使用して「設定保存」を選択します。
2. [OK] ボタンを押します。

i 設定できない値を入力するとエラーメッセージが表示されます。
エラーメッセージと対策については 60 ページをお読みください。

■ひとつ上の階層のメニューを表示する

「戻る」を押します。

リモコンからの文字入力

文字入力を行うときは、リモコンの[0]～[9]ボタンを使用します。
同じボタンを連続して押すと、押すたびに入力される文字が切り替わります。
入力した文字を確定して次の文字を入力するときには、[→]ボタンを使用します。

	入力される文字の順序									
キー	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
【1】	1	.	-	_	～	1				
【2】	2	a	b	c	A	B	C	2		
【3】	3	d	e	f	D	E	F	3		
【4】	4	g	h	i	G	H	I	4		
【5】	5	j	k	l	J	k	L	5		
【6】	6	m	n	o	M	N	O	6		
【7】	7	p	q	r	s	P	Q	R	S	7
【8】	8	t	u	v	T	U	V	8		
【9】	9	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9
【0】	0	!	#	$	%	(	)	+	-	
	.	;	=	^	_	{	}	～	0	

[CLEAR] ボタンを押すと一つ前に入力された文字を削除します。

初回設定

初めて本機を起動したときには、初回設定画面が表示されます。
初回設定では、まず本機の日時や管理パスワードの設定を行います。
次に、本機にカメラを登録します。

本機の設定を行う

最初に本機の設定を行います。

■日時

本機に現在日時を設定します。
年・月・日・時・分・秒の順に数字を入力します。
すべての入力が完了したら、「適用」を押して本機に日時を反映します。

本機を正確な時刻で運用するため、1 週間に 1 回程度本機の時刻を正確な時刻に合わせてください。
時刻の設定方法については 36 ページをお読みください。

本機に設定した日時は自動的にカメラにも反映されます。(YS-1500/YS-2000 のみ)

■ネットワーク

本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
各項目を選択して数値を入力します。
新たに本機およびカメラを設置するときには変更する必要はありません。
すでにお使いのネットワーク環境に本機を組み込むときなどに変更してください。

本機のネットワーク設定によっては、かんたん設定が正しく動作しない場合があります。かんたん設定を行う場合は、カメラ以外のネットワーク機器に以下の IP アドレスを使用しないでください。

192.168.0.10	192.168.0.253	192.168.100.252
192.168.0.90	192.168.100.1	192.168.14.1
192.168.0.252	192.168.0.2	192.168.14.252

■管理パスワード

本機の管理パスワードを設定します。
管理パスワードはメニューを 表示するときと、電源を切るときに必要です。
項目を選択して5桁の数字を入力します。

本機に設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

■H.264リフレッシュ（描画の再構築）

H.264配信のカメラを本機で連続使用し続けると、本機は不定期にリフレッシュを行ないます。本設定により、定時刻でH.264映像をリフレッシュさせることで、不定期なリフレッシュを抑制することが出来ます。

しない* ：H.264映像の定期リフレッシュを行いません。
00:00〜23:30（30分単位）：指定した時刻（＋30秒付近）からカメラ毎に
H.264映像のリフレッシュを行ないます。

リフレッシュ動作は、カメラ 1 台あたり 3 〜 30 秒程度かかります（通常は 5 秒程度)。リフレッシュ中はライブ映像の表示や録画を行なうことは出来ません。お使いの環境により、全カメラのリフレッシュに数分かかることがあります。

■電源メニュー表示

運用中に［電源ボタン］、またはリモコンの［電源］ボタンを押したときの動作を設定します。

する* ：管理パスワード画面を表示します。
管理パスワードの入力後、電源オフの処理を行ないます。
しない：管理ポスワード画面を表示せず、すぐに電源オフの処理を行ないます。

すべての設定が完了したら、「設定保存」を押して、カメラの登録を行います（次ページ)。

カメラを登録する

続いて、モニタリングを行うカメラを登録します。
本機の設定が完了すると、以下のメッセージが表示されます。

> 続いてカメラの設定を行います
>
> カメラとHUBの電源が入っていることと、
> LANケーブルが接続されていることを確認してください
>
> [かんたん設定]を押すと、自動でカメラ設定を開始します
> [かんたん設定]を行わない場合は、[カメラ設定]を押してください
> ※[かんたん設定]は、あとからでも設定可能です
>
> かんたん設定　カメラ設定

お使いのネットワーク環境にあわせて、項目を選択します。

本機にカメラを登録するには、かんたん設定から自動でカメラを登録する方法と、カメラ設定から手動でカメラを登録する方法があります。
お買い上げ状態のカメラを登録するときは、かんたん設定より自動でカメラを登録してください。（本ページ）
すでに設定済みのカメラを登録するときは、カメラ設定よりIPアドレスを指定してカメラを登録してください。（21ページ）

本機へのカメラ登録を正しく行うため、かんたん設定、およびカメラ設定はカメラの起動が終わってから行ってください。（カメラ機種により起動に５分程度必要なときがあります）

かんたん設定から自動でカメラを登録する

「かんたん設定」を選択すると、カメラを検索して自動で本機に登録しはじめます。
本機にすべてのカメラが登録されるまでしばらくお待ちください。

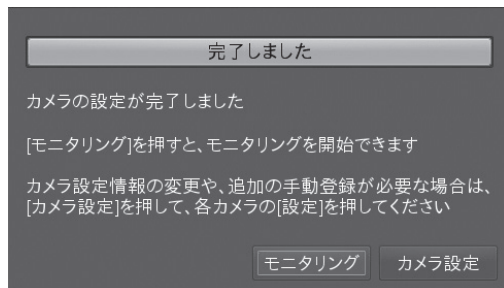
■カメラ名
登録したカメラのカメラ名が表示されます。かんたん設定では、本機が自動で割り当てます。

■機種名
登録したカメラのカメラ機種名が表示されます。

■ IP アドレス
登録したカメラの IP アドレスが表示されます。

登録が完了するまで、本機の操作は行わないでください。

DHCP サーバーの設置されたネットワーク環境では、かんたん設定はできません。

すべてのカメラの登録が完了すると、完了メッセージが表示されます（次ページ）。

カメラのモニタリングを開始するときは、「モニタリング」を押します。
さらにカメラへの詳細な設定を行うときは、「カメラ設定」を押します。
カメラの詳細設定については 29 ページをお読みください。

カメラ設定から手動でカメラを登録する

カメラ設定を選択すると、手動でカメラを本機に登録することができます。
登録には以下のカメラの設定情報が必要です。

・登録するカメラの管理者名（または、管理者権限のあるユーザー名）、及びパスワード
・登録するカメラの IP アドレス
・登録するカメラのポート番号

登録したいカメラの設定情報がご不明なときは、お使いのネットワークの管理者にご確認ください。

■登録
設定済みのカメラを登録するときに押します。

■かんたん設定
かんたん設定を行うときに押します。

■モニタリング
登録を完了してモニタリングを開始するときに押します。

「登録」を押してカメラの手動登録を開始します。
手動でカメラを登録する方法については 28 ページをお読みください。

その他の項目については 27 ページをお読みください。

表示設定

本機に登録されたカメラの表示位置やシーケンスの設定など、本機の表示に関する設定を行います。メニューにて「表示設定」を押すと本画面が表示されます。

■表示位置

モニタリング画面の、カメラの表示位置を設定します。
また、シーケンス時のカメラの表示順番も本設定内容に従い動作します。

　1 ～ 8：該当のカメラ名の画像を指定した番号の表示位置に表示します。
　－－　：該当のカメラ名の画像を表示しません。

表示位置の重複は出来ません。

■情報表示

モニタリング中に、情報表示を行うか、行わないかを設定します。
表示される内容については、43 ページをお読みください。

　する ＊ ：モニタリング中に情報表示を行います。
　しない ：モニタリング中に情報表示を行いません。

■多画面分割

本機で多画面表示を行うときのレイアウトを設定します。
表示位置ガイドを参考に設定してください。
4 分割、2 分割に設定したときは、シーケンス表示が行えます。

多画面分割設定を変更すると、本機は自動で再起動を行ないます。
YS-1500 は 4 分割での固定表示になります。

■シーケンス（表示画面）

シーケンス表示中に、多画面でシーケンスを行うか、単画面でシーケンスを行うかを設定します。

単画面　：単画面でシーケンスを行います。
多画面 *：2 画面、4 画面でシーケンスを行ないます。または多画面分割で設定した表示を行ないます。

■シーケンス（表示間隔）

シーケンスモニタリング時、画面を切り替える間隔を設定します。
5 〜 60 の範囲で秒数を数字で入力します。

すべての設定が完了したら「設定保存」を押します。

i シーケンスについては、49 ページをお読みください。

■ 録画設定

カメラの録画に関する設定を行います(YS-1500/YS-2000のみ、YS-1500は4台まで)。本機に登録されたカメラに対して、最大8台まで録画ができます。録画設定は、録画を行うカメラや録画方法を設定する録画設定と、録画のスケジュールを登録する録画スケジュールの2つの画面で設定します。

HDD が接続されていないとき、または接続された HDD が初期化されていないときには、本画面は表示されません。

録画設定

メニューにて「録画設定」を押すと本画面が表示されます。

※本画面はカメラ４台目までの録画設定を行えます。左下のボタン「5～8」を押下で、カメラ５台目以降の録画設定に切り替わります。

■カメラ名

録画するカメラのカメラ名を選択します。
録画を行わないときは、-- を選択します。

カメラ名：選択したカメラ名の画像を録画します。
－－ *　：録画しません。

■録画方法

カメラ名で指定したカメラに対して常時録画を行うか、設定したスケジュールに従い録画を行うかを設定します。

連続（常時）*：本機の運用中は常時録画を行います。
スケジュール：設定したスケジュールに従い録画します。
別途スケジュールを設定する必要があります。

録画方法をスケジュールに設定したときには、必ずスケジュールの登録を行ってください。
スケジュールの登録方法については 25 ページをお読みください。

■録画容量節約

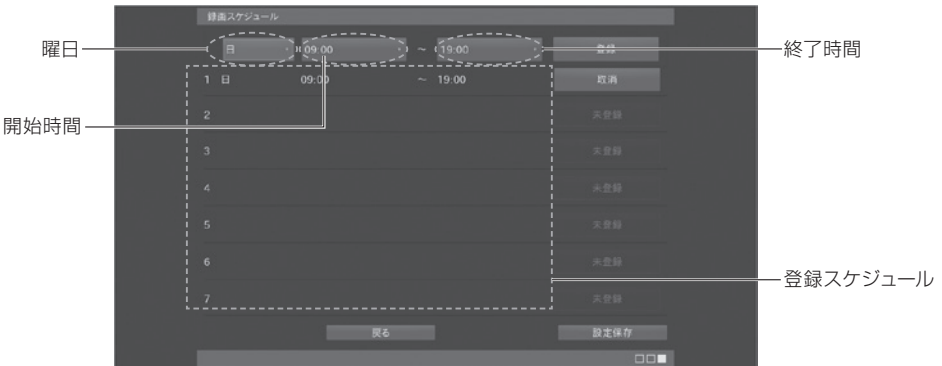
本設定を行うとフレームレートを約半分にして録画を行うことができます。再生画像のなめらかさは無くなりますが、HDDの録画時間を約2倍に延長することができます。

する　　：フレームレートを約半分にして録画を行います。
しない *：フレームレートを変更せずに録画を行います。

i カメラの配信フォーマットが H.264 に設定されているときは、本設定は変更できません。

すべての設定が完了したら「設定保存」を押します。

録画スケジュール設定

録画設定の録画方法でスケジュールを設定したカメラの録画スケジュールを設定します。
最大7つまでの録画スケジュールを設定できます。
また、本画面にて登録したスケジュールの削除もできます。
「録画設定」にて「スケジュール」を押すと本画面が表示されます。

スケジュール登録・取消後は、必ず「設定保存」を押してください。

■曜日

録画を行う曜日を設定します。「日」～「土」のいずれかを選択します。
項目を選択して [OK] ボタンを押すと、項目が開き選択できるようになります。
［↑］または［↓］ボタンで項目を選択し、再度 [OK] ボタンを押して項目を確定します。

■開始時間

スケジュールを行うときの開始時間を設定します。
00:00 ～ 24:00 のいずれかを選択します。（30 分単位）
項目を選択して [OK] ボタンを押すと、項目が開き選択できるようになります。
［↑］または［↓］ボタンで項目を選択し、再度 [OK] ボタンを押して項目を確定します。

■終了時間

スケジュールを行うときの終了時間を設定します。
00:30〜翌08:00のいずれかを選択します。（30分単位）
項目を選択して[OK]ボタンを押すと、項目が開き選択できるようになります。
［↑］または［↓］ボタンで項目を選択し、再度 [OK] ボタンを押して項目を確定します。

翌○○：○○を設定すると、設定した曜日の翌日まで日付をまたいで録画できます。

■登録

設定した「曜日」、「開始時間」、「終了時間」でスケジュールを登録します。
登録されたスケジュールは、画面内の登録スケジュールに表示されます。

再度、「曜日」、「開始時間」、「終了時間」を設定し、登録を行うことで最大 7 つまでのスケジュール登録が可能です。

■取消

登録済みのスケジュール 1 〜 7 の内容を取り消します。
削除したいスケジュールの「取消」を押します。
確認メッセージにて「OK」を押します。

スケジュールを修正するときにも、一度スケジュールを取り消してから、修正した内容のスケジュールを登録してください。

すべての設定が完了したら「設定保存」を押します。

スケジュール録画を行うときは、正しい時刻で録画を行うため、1 週間に 1 回程度本機の時刻を正確な時刻に合わせてください。
時刻の設定方法については 36 ページをお読みください。

カメラ設定

本機にカメラを登録したり、登録されたカメラの設定変更を行います。
また、登録したカメラの削除も本画面より行います。
本機とカメラの時刻がずれているときには、時刻補正を行うこともできます。
メニューにて「カメラ設定」を押すと本画面が表示されます。

手動でカメラを登録するときは、28ページをお読みください。
登録されたカメラの設定変更を行うときは、29ページをお読みください。
登録されたカメラの時刻補正を行うときは、32ページをお読みください。
登録されたカメラの登録削除を行うときは、33ページをお読みください。

■カメラ名
登録されているカメラのカメラ名が表示されます。

■機種名
登録されているカメラのカメラ機種名が表示されます。

■ IP アドレス
登録されているカメラの IP アドレスが表示されます。

■登録
設定済みのカメラを手動で登録するときに使用します。
カメラのユーザー名、パスワード、IP アドレス、及びポート番号を入力してカメラを登録します。

すでにカメラが 8 台（YS-1500 は 4 台）登録されているときには、「登録」は表示されません。

■設定
選択したカメラの設定内容を変更するときに使用します。

■かんたん設定
お買い上げ状態のカメラを追加したときなど、後からかんたん設定を行うときに使用します。
「かんたん設定」を押すと追加したカメラを検索して自動で本機に登録しはじめます。
完了メッセージが表示されたら「完了」を押して登録を完了します。
かんたん設定については 20 ページをお読みください。

手動でカメラを登録する

設定済みのカメラを本機に登録します。
登録には以下のカメラの設定情報が必要です。

・登録するカメラの管理者名（または、管理者権限のあるユーザー名）、及びパスワード
・登録するカメラの IP アドレス
・登録するカメラの HTTP ポート番号

登録するカメラの設定情報がご不明なときは、お使いのネットワークの管理者にご確認ください。

カメラ設定画面にて「登録」を押します。
カメラ詳細設定画面が表示されます。

■ユーザー名

登録するカメラの管理者名（または、管理者権限のあるユーザー名）を設定します。
項目を選択して文字を入力します（最大 15 文字）。

■パスワード

入力した管理者名（または、管理者権限のあるユーザー名）のパスワードを設定します。
項目を選択して文字を入力します（最大 15 文字）。

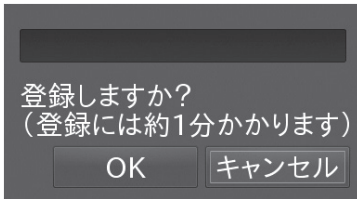
■ IP アドレス

登録するカメラの IP アドレスを設定します。
各項目を選択して数字を入力します。

■ポート番号

登録するカメラのポート番号（HTTP ポート番号）を設定します。
項目を選択して数字を入力します。

すべての設定が完了したら「登録」を押します。
確認メッセージが表示されます（次ページ）。

上記以外の設定項目は入力できません。
本機がカメラ登録するときに自動で割り当てます。
設定の変更を行うときは、本機にカメラを登録後に設定変更を行ってください。

「OK」を押すと、本機へのカメラ登録が開始されます。
約 1 分後、登録が完了すると、カメラ設定画面が表示されます。

複数のカメラを手動登録するときは、カメラ設定より再度「登録」を押してください。

登録されたカメラの設定変更を行う

本機に登録済みのカメラの設定変更を行います。
カメラ設定画面にて設定を変更したいカメラの「設定」を押します。
カメラ詳細設定画面が表示されます。

■カメラ名

変更したいカメラ名を設定します。
項目を選択して文字を入力します。

■ユーザー名

変更したいユーザー名を設定します。
項目を選択して文字を入力します。

AXIS 社製、JVC ケンウッド社製、ELMO 社製および CANON 社製のカメラは本項目を変更することはできません。

■パスワード

変更したいパスワードを設定します。
項目を選択して文字を入力します。

■ネットワーク

ネットワーク設定の変更はできません。変更が必要なときは、カメラを登録削除し、PC にてカメラの設定を変更した後再度、カメラを登録してください。

■配信フォーマット

カメラの配信フォーマットを設定します。

M-JPEG*：Motion JPEG 方式にてカメラより画像を取得します。

H.264　：H.264 方式にてカメラより画像を取得します。複数ストリームを持つカメラのときは、ストリーム 1 から取得します。
M-JPEG 使用時に比べて録画時の HDD 使用量を節約できます。

H.264（インターネット）：H.264 画像を HTTP にて取得します。

H.264-2：H.264 画像をストリーム 2 から取得します。

H.264-2（インターネット）：H.264 ストリーム 2 の画像を HTTP にて取得します。

配信フォーマットと画像サイズの組み合わせにより、本機の設定値がカメラの設定許容範囲を越えると、画像の表示が正しく行われなくなります。カメラの取扱説明書に従い、配信フォーマットと画像サイズを適切に設定してください。

お使いのカメラ機種により使用できない配信フォーマットがあります。

マルチキャスト配信については、34 ページをお読みください。

■画像サイズ

カメラの画像サイズを設定します。
画像サイズが大きいほど、画像がきめ細かく表示されますが、
録画時の HDD 使用量が大きくなります。
320×240～1920×1080：指定された画像サイズで、カメラから画像を取得します。

カメラの設定値が本機の表示性能を超えると画像の表示が正しく行われなくなります。
表示性能の目安についてはサポートサイトをご確認ください。
サポートサイトについては、65 ページをお読みください。

お使いのカメラ機種により使用できない画像サイズがあります。

■フレームレート

カメラのフレームレートを設定します。
フレームレートが大きいほど、画像がなめらかに表示されますが、
録画時の HDD 使用量が多くなります。
5 ～ 30：指定されたフレームレートで、カメラから画像を取得します。

カメラの設定値が本機の表示性能を超えると画像の表示が正しく行われなくなります。
表示性能の目安についてはサポートサイトをご確認ください。
サポートサイトについては、65 ページをお読みください。

お使いのカメラの機種により使用できないフレームレートがあります。

■日時表示

カメラの画像上に日時表示を行うか、行わないかを設定します。
する *：カメラの画像上に日時を表示します。
しない：カメラの画像上に日時を表示しません。

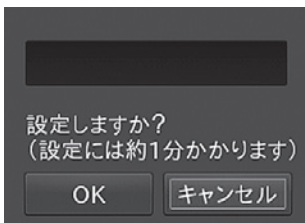
録画を行うカメラには、日時表示を行ってください。
日時表示を行わないと、再生したときに録画時刻が確認できません。

お使いのカメラ機種により日時表示ができないことがあります。

■上下反転

カメラの画像を上下反転するか、しないかを設定します。
する　：カメラの画像を上下反転して表示します。
しない *：カメラの画像を反転せずに表示します。

お使いのカメラ機種により上下反転ができないことがあります。

すべての設定が終了したら「設定保存」を押します。
確認メッセージが表示されます。

「OK」を押すと、カメラの設定変更が開始されます。
約 1 分後、変更が完了すると、カメラ設定画面が表示されます。

録画中のカメラを設定変更すると、設定変更中の録画は行われません。

時刻の補正を行う

本機に登録済みのカメラの時刻を本機の時刻に合わせます。
カメラ設定画面にて、時刻に合わせたいカメラの「設定」を押します。
設定変更用のカメラ詳細設定画面が表示されます。

「時刻補正」ボタン

「時刻補正」ボタンを押します。

カメラの時刻を補正しています
しばらくお待ちください・・・

メッセージが表示され、カメラの時刻を本機の時刻に合わせます。カメラの時刻補正には、数分かかることがあります。

設定が完了するとカメラ詳細設定画面に戻ります。

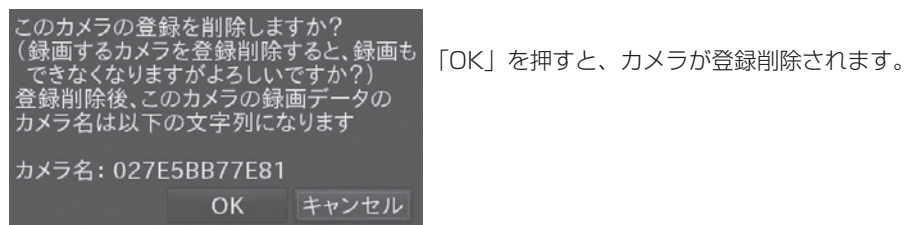
録画中のカメラを時刻補正すると、時刻補正中の録画は行われないことがあります。

登録されたカメラの登録削除を行う

本機に登録済みのカメラの登録削除を行います。
カメラ設定画面にて登録を削除したいカメラの「設定」を押します。
カメラ詳細設定画面が表示されます。

「登録削除」ボタン

「登録削除」を押します。
確認メッセージが表示されます。

「OK」を押すと、カメラが登録削除されます。

一度登録削除したカメラの録画データは、カメラ名ではなく本機独自のカメラ文字列にて管理されます。
確認メッセージで表示されるカメラ名をメモして保存するようにしてください。

■ マルチキャスト配信をモニタリングする

カメラからのマルチキャスト配信を受信するには、以下の手順で行ってください（YS-2000MCのみ）。

① カメラを登録する

手動登録、またはかんたん登録にてカメラを登録します。
カメラの登録の手順については、20 ページをご参照ください。

② カメラ設定画面にて H.264 マルチキャスト配信を選択する

本機に登録済のカメラを H.264 マルチキャスト配信に設定を変更します。
カメラ設定画面にて設定を変更したいカメラの「設定」を押します。
カメラ詳細設定画面が表示されます。

■配信フォーマット

カメラの配信フォーマットを［H.264（マルチキャスト）］または［H.264-2（マルチキャスト）］に変更してください。

■画像サイズ／フレームレート

カメラの画像サイズ／フレームレートを、カメラに設定したい値に変更ください。

すべての設定が終了したら「設定保存」を押します。確認メッセージが表示され、「OK」を押すと、カメラの設定変更が開始されます。

本設定を行った後、マルチキャスト情報を取得するまでは、映像の取得が出来ませんので、ご注意ください。

③ PC にてカメラのマルチキャスト設定を変更する

PC で対象のカメラにアクセスし、マルチキャストアドレス、及びマルチキャストポートなど、マルチキャスト配信が出来るように設定をする必要があります。
必要に応じてビットレートなども設定してください。
詳しくは各カメラの取扱説明書をご参照ください。

複数のカメラを使用する時には、マルチキャストアドレスまたはマルチキャストポートを、それぞれ固有な値に設定してください。

マルチキャストで映像を取得するときには、カメラの映像配信量を、3Mbps以下に設定してください。

本設定はカメラに対して行う設定なので、例えば複数ある本機の設定毎に行う必要はありません。

AXIS カメラにてマルチキャスト配信を行うためには、カメラのブラウザーより [setup] - [System Option] - [Network] - [RTP] - [Multicast] - [Always Multicast Video] 設定にて H.264 を選択し有効な状態に設定してください。

④ 登録されたカメラからマルチキャスト情報を取得する

カメラ設定画面にて設定を変更したいカメラの「設定」を押します。
カメラ詳細設定画面が表示されます。

マルチキャスト設定の「更新」ボタンを押します。

マルチキャストアドレスと同ポートが取得され、登録されます。

カメラのマルチキャストアドレスやマルチキャストポートを変更したときは、再度「更新」を行ってください。

本体設定

**本機の現在日時や管理パスワードなどを設定します。
メニューにて「本体設定」を押すと本画面が表示されます。**

■日時

本機の日時を設定します。
年・月・日・時・分・秒の順に数値を入力します。
入力が完了したら、「適用（再起動）」を押します。
日時の反映後、本機は自動的に再起動します。

本機を正確な時刻で運用するため、1 週間に 1 回程度本機の時刻を正確な時刻に合わせてください。

本機に設定した日時は自動的にカメラにも反映されます。（YS-1500/YS-2000 のみ）

■ネットワーク

本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
各項目を選択して数字を入力します。

ネットワーク設定を変更すると、一時的にカメラと通信が取れなくなることがありますが、本機の異常ではありません。しばらくすると自動で復帰します。

あらたに本機およびカメラを設置するときは、変更する必要はありません。
すでにご使用のネットワーク環境に本機を組み込むときには、
ネットワーク環境に合わせて変更してください。

■管理パスワード

本機の管理パスワードを設定します。
管理パスワードはメニューを表示するときと、電源を切るときに必要です。
項目を選択して 5 桁の数字を入力します。

すべての設定が完了したら、「設定保存」を押します。

本機に設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

■ H.264 リフレッシュ

H.264 映像をリフレッシュさせる時刻を設定します。詳しくは 19 ページをお読みください。

■電源メニュー表示

［電源ボタン］、またはリモコンの［電源］ボタンを押した際の動作を設定します。詳しくは 19 ページをお読みください。

■音声出力先

本機からの音声の出力先を設定します（YS-1500はライブ音声に対応しておりません）。

HDMI*	：	HDMI 端子より音声を出力します。
ミニジャック	：	天面のミニジャックより音声を出力します。

音声を出力するには、カメラ設定の配信フォーマットを「H.264」「H.264（インターネット）」「H.264-2」「H.264-2（インターネット）」に設定してください。

カメラの音声を出力するためには、本機推奨の音声対応カメラが必要です。

カメラの音声を出力するためには、カメラのブラウザーより以下の設定を行ってください。

・音声モードを受話にする。
・音声圧縮方式を G.726 にすること

音声出力先設定を変更すると、本機は自動で再起動します。

■ システム管理

本機の電源操作の他、システム管理などの操作・設定を行います。
メニューにて「システム管理」を押すと本画面が表示されます。

■電源オフ
［実行］を押して、本機の電源を落とします。

本機の設定データをセーブ（保存）する

本機の USB 端子に USB メモリー（別売り）を挿入して､本機の設定内容のセーブ（保存）を行うことができます。
USB メモリーにセーブされた設定データは、ロード（読込）することができます。

USB メモリーは FAT32 で初期化（フォーマット）してからご使用ください。
正しく設定データのセーブが行えないことがあります。
また、本機以外のデータが入っている USB メモリーを使用したときには、記録した情報が消失する可能性があります。

本機の不測の事態に備えて、設定セーブを行っておくことを推奨します。

旧い USB メモリーを使用しないでください。
正しく設定データの保存ができないことがあります。

設定データのセーブを行います
よろしいですか？
（設定データをセーブするUSBメモリーを
挿入して[OK]を押してください）
OK　キャンセル

システム管理画面、システム管理より、設定セーブの「セーブ」ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。
本機の USB 端子に USB メモリー（別売り）を挿入して「OK」を押します。

USB 端子や本機に無理な力をかけないでください。破損の原因になります。

USB ポートは端子の向きを確認して正しく接続してください。

セーブが完了すると、自動で完了メッセージが表示されます。

「OK」を押して、完了メッセージを閉じ、USB メモリーを取り外します。

本機の設定データが入った USB メモリーは他の機器で使用しないでください。
本機で設定をロードするときに正しく設定データのロードができなくなることがあります。

本機の設定データにはカメラのユーザー名やパスワードなどのセキュリティに関する情報が含まれます。
取り扱いにご注意ください。

本機の設定データをロード（読込）する

USB メモリーにてセーブされた設定データを、ロード（読込）します。
ロードを行うためには、あらかじめ設定データがセーブされた USB メモリーが必要です。
設定データのセーブについては 38 ページをお読みください。

システム管理画面、システム管理より、設定ロードの「ロード」ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。
本機の USB 端子に USB メモリー（別売り）を挿入して「OK」を押します。

USB 端子や本機に無理な力をかけないでください。破損の原因になります。

USB ポートは端子の向きを確認して正しく接続してください。

設定データのロードが完了しました
まもなく本機は自動的に再起動します
しばらくお待ちください・・・
OK キャンセル

ロードが完了すると、完了メッセージが表示されます。

約 5 秒程度経過すると、本機は自動的に再起動し、ロードされた設定で動作します。

本機の再起動が完了するまでは、本機を操作しないでください。

モニタリング画面が表示されたら、USB メモリーを取り外します。

本機のファームウェアをバージョンアップする

本機の USB 端子に本機のファームウェアが入った USB メモリー（別売り）を挿入することにより、ソフトウェアのバージョンアップを行うことができます。

最新のファームウェアはサポートサイトより入手できます。
サポートサイトについては、65 ページをお読みください。

USB メモリーは FAT32 で初期化（フォーマット）してからご使用ください。
正しくファームウェアのバージョンアップが行えないことがあります。また、本機以外のデータが入っている USB メモリーを使用したときには、録画した情報が消失する可能性があります。

推奨品以外の USB メモリーを使用しないでください。
正しくファームウェアのバージョンアップができないことがあります。

入手したファームウェアは USB メモリーのルート・ディレクトリーにコピーします。
ファイル名：aileun2.tar.gz

システム管理画面のシステム管理より、バージョンアップの「実行」ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。
本機の USB 端子に本機のファームウェアが入った USB メモリーを挿入して、「OK」を押します。
バージョンアップが完了すると、完了メッセージが表示されます。

USB 端子や本機に無理な力をかけないでください。破損の原因になります。

USB ポートは端子の向きを確認して正しく接続してください。

約 5 秒程度経過すると、本機は自動的に再起動します。その後、起動画面で新しいソフトウェアの展開が行われます。
モニタリング画面が表示されるまでは本機を操作しないでください。

バージョンアップの開始後、モニタリング画面が表示されるまでの間は、
絶対に本機の電源を切らないでください。
バージョンアップ中に電源を切ると、本機を起動することができなくなります。

サポートデータを取得する

本 USB メモリー（別売り）に本機のサポートデータを展開することができます。
通常は使用することはありません。

本機の設定を工場出荷状態に戻す

本機を工場出荷状態（初期化）にすることができます。
本機のすべての設定が初期化され、元に戻すことができないため、ご注意ください。
通常は使用することはありません。

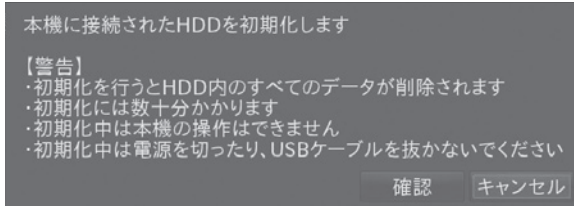
HDD を初期化する

接続された HDD を初期化（フォーマット）します（YS-1500/YS-2000 のみ）。
お買い上げ状態の HDD は、必ず本操作・初期化（フォーマット）を行なってください。

システム管理画面の HDD 操作の「初期化」を押します。

本機に接続されたHDDを初期化します

【警告】
・初期化を行うとHDD内のすべてのデータが削除されます
・初期化には数十分かかります
・初期化中は本機の操作はできません
・初期化中は電源を切ったり、USBケーブルを抜かないでください

確認 キャンセル

確認メッセージが表示されます。
「確認」を押すと、再度確認のダイアログが表示されます。
「OK」を押すと、HDD の初期化（フォーマット）が始まります。

初期化を行なうと、HDD 内のすべてのデータが削除されます。
復旧は出来ませんので、充分ご注意の上、実行ください。

初期化には数分かかります。接続される HDD の容量によって異なります。
初期化中は、本機のいかなる操作も出来ません。

初期化中は、本機や HDD の電源を切ったり、USB ケーブルを抜かないでください。
本機や HDD の故障の原因になります。

操作編

電源を入れる・電源を切る

電源を入れる

本体正面にある電源ボタン、またはリモコンの [電源] ボタンを押します。
起動画面が表示され、数分後にモニタリング画面が表示されます。

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは初回設定画面が表示されます。
初回設定については 18 ページをお読みください。

電源を切る

モニタリング画面を表示中に、本体正面の電源ボタン、またはリモコンの [電源] ボタンを押します。
管理パスワードを入力するメッセージが表示されるので、[0] ～ [9] ボタンを使用して管理パスワードを入力し、「OK」を押します。
（管理パスワードの初期設定値：11111）
管理パスワードが正しく入力されると、電源を切るためのメッセージが表示されますので、「電源オフ」を押します。

録画中、上記手順以外の方法で電源を切ると録画データを破壊し、再生不能となる場合があります。

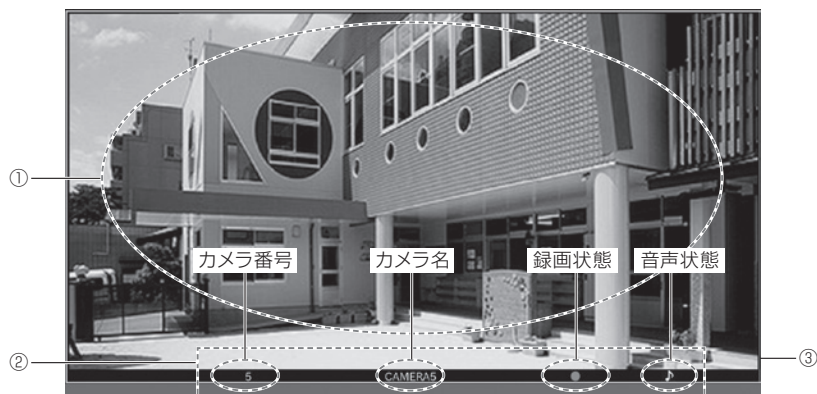
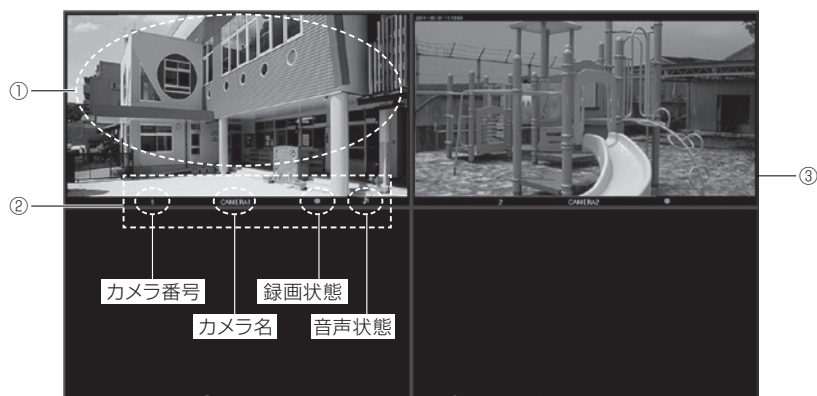
本機の起動完了後、約 2 分間は電源操作はできません。

「電源メニュー表示設定」をしないに設定すると、管理パスワードを表示せずに電源オフすることができます。詳しくは、19 ページ「電源メニュー表示」をお読みください。

■ モニタリング画面について

表示について

本機を起動すると、モニタリング画面が表示されます。
本機のライブ画像の表示はモニタリング画面で行います。
モニタリング画面では、ライブ画像を単画面、多画面、およびシーケンス表示することができます。
また情報表示を行うことで、カメラ名や録画状態を表示することもできます。
情報表示は本機の表示設定より行います。
表示設定については 22 ページをお読みください。

単画面表示

多画面表示（画面は4画面）

① **画像表示部**：ライブ画像が表示されます。単画面、多画面で表示できます。
② **情報表示部**：カメラ番号、カメラ名、録画状態、および音声状態が表示されます。
③ **画像表示枠**：単画面・多画面表示中は白く表示されます。シーケンス中は青く表示されます。

音声の出力について

本機で推奨の音声対応カメラをご利用頂くことで、カメラの音声を本機から出力することができます（YS-1500はライブ音声に対応しておりません）。
音声が出力できる状態のカメラは、音声マーク（♪）がつきます。
カメラの音声を出力するためには以下の設定が必要です。

本機の設定　：該当カメラの配信フォーマットがH.264であること
カメラの設定：音声モードが受話であること
　　　　　　　音声圧縮方式がG.726であること

音声を出力するには、カメラ設定の配信フォーマットを「H.264」「H.264（インターネット）」「H.264-2」「H.264-2（インターネット）」に設定してください。

多画面表示時は、左上のカメラ音声が出力されます。

起動直後やカメラとの通信が切断された直後は、カメラ画像と音声が数秒分ずれることがあります。数分放置されると、ずれが修正されます。

音声の録音には対応しておりません。

YS-2000MCにて、カメラのマルチキャスト配信をモニタリングする場合は、音声は出力されません。

エラー表示について

本機では、モニタリング中にエラーが発生すると、画面下にエラー表示を行います。
エラー表示は以下のときに行います。
・カメラと通信ができなくなったとき
・録画ができなくなったとき
・HDD が故障したとき

カメラと通信ができなくなったときのエラー表示

> **i** カメラのエラー時は、「カメラ設定」で登録したカメラ番号が表示されます。
> （モニターに表示されている番号ではなく、各カメラを登録したときのカメラ番号）

エラー表示に、「カメラエラー（カメラ番号:○/○/○）」と表示されます。（○はカメラ番号）
カメラのネットワーク接続や電源、ハブのネットワーク接続や電源などを確認してください。正常にカメラ通信ができるようになると、エラー表示は自動的に消えます。

> **i** エラーが発生しているカメラを登録削除しても、エラー表示を消すことができます。

録画ができなくなったときのエラー表示

エラー表示に、「録画に失敗しました 」と表示されます。
録画エラーが発生したら、HDDの接続や電源などを確認してください。
正常に録画が行える状態になると、エラー表示は自動的に消えます。

録画エラーは、モニタリング画面でリモコンの [CLEAR] ボタンを押して、録画設定を消すことでも解除できます。
再度録画を行うときは、状態の復帰後に録画設定をしなおしてください。

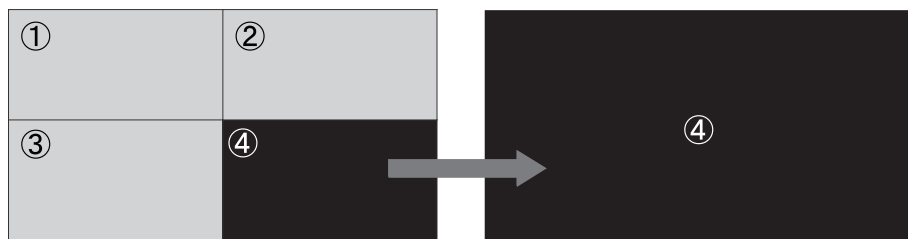
本機の電源を不正規な操作で切ったり、本機の電源を入れたまま HDD の電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりすると、このエラー表示がされることがあります。
そのときは、本機より HDD をフォーマットしなおしてください。

HDDが故障したときのエラー表示

エラー表示に、「HDD が故障しました」と表示されます。
録画データの書込や読込が正しく行われない状態が継続して発生しています。
[CLEAR] ボタンを押すとエラー表示が消えます。
このエラー表示がされたときは、速やかに HDD を交換してください。

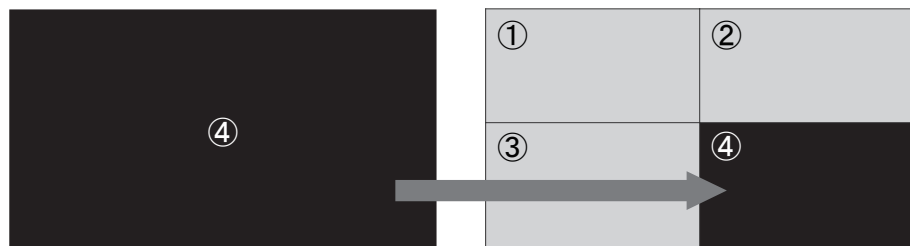
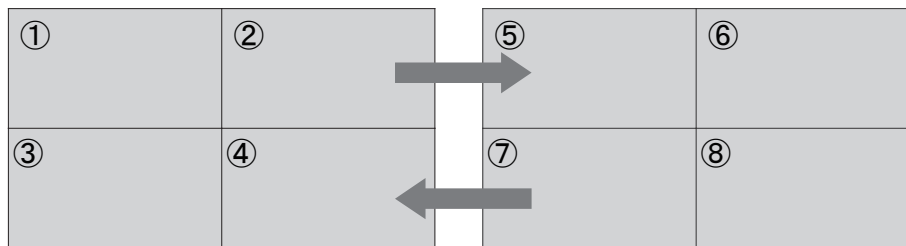
本機の電源を不正規な操作で切ったり、本機の電源を入れたまま HDD の電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりすると、このエラー表示がされることがあります。
そのときは、本機より HDD をフォーマットしなおしてください。

単画面で表示する

カメラの画像を単画面で表示します。

モニタリング画面でリモコンの [1] ～ [8] ボタンを押すと対応する表示位置のカメラの画像が単画面で表示されます。

登録されていない表示位置のカメラの画像は選択できません。

４分割・２分割で表示する

カメラの画像を4画面、または2分割で表示します（以下、図は4分割で説明します）。

モニタリング画面でリモコンの [OK] ボタンを押すと表示位置 1 ～ 4、または 5 ～ 8 のカメラの画像が 4 分割で表示されます。
※ 2 分割時は、1 ～ 2、3 ～ 4、5 ～ 6、7 ～ 8 の画像が 2 分割で表示されます。

4 分割表示中に、再度リモコンの [OK] ボタンを押すと次画面のカメラの画像が 4 分割で表示されます。
以降、[OK] ボタンを押すごとに、画面が切り替わって表示されます。
※ 2 画面時も同様に、次画面の 2 分割画面が切り替わって表示されます。

多画面で表示する

カメラの画像を多分割で表示します。
リモコンの［OK］ボタンを押すと、多画面分割にて設定した分割画面で表示します。

［6分割A］

［6分割B］

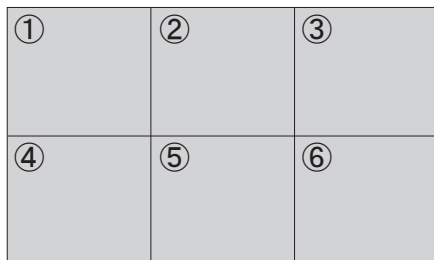
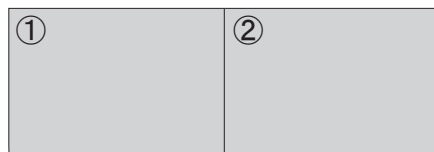
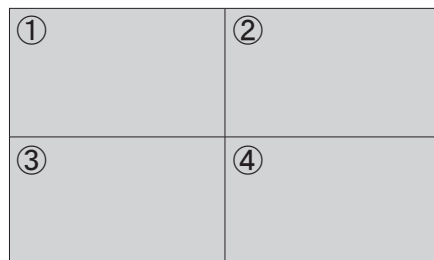
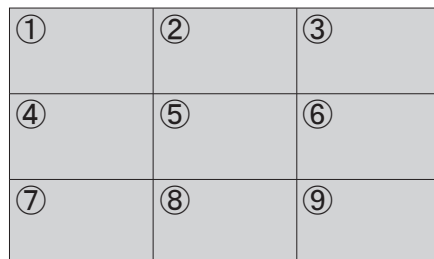
［2分割］

［4分割］

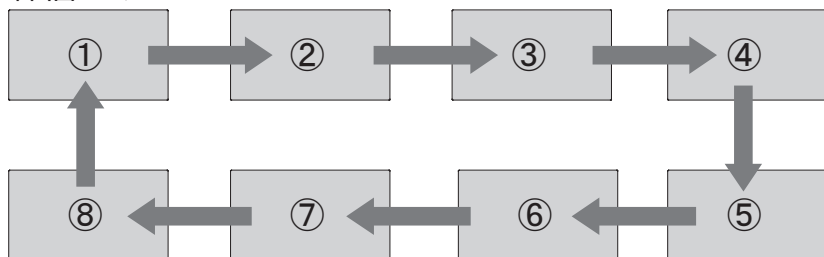
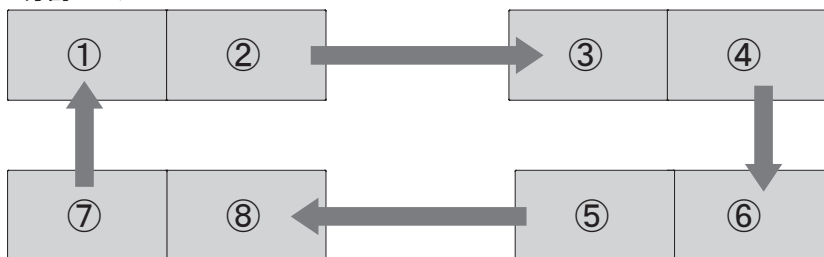
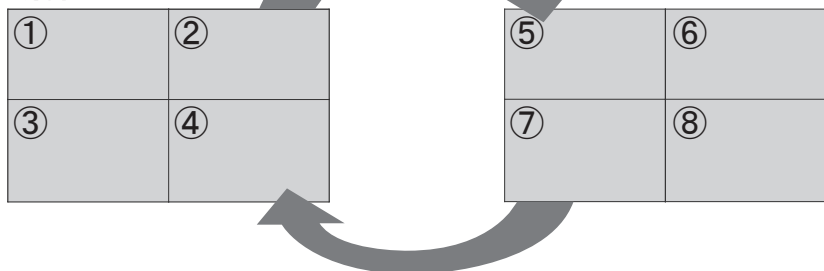
［8分割］

① ② ③ ④
⑤ ⑥ ⑦ ⑧

［9分割］

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨

シーケンスして表示する

本機では、カメラの画像を決められた間隔で自動的に切り替えて表示することができます（シーケンス）。

単画面シーケンス

2分割シーケンス

4分割シーケンス

単画面で切り替えて表示する単画面シーケンスと多画面で切り替えて表示する多画面シーケンスの設定があります。
また、画像を切り替える間隔を設定することもできます。
各シーケンスの設定は表示設定で変更できます。
詳細な設定方法については 22 ページをお読みください。

登録されていない表示位置のカメラの画像はシーケンス表示されません。

シーケンス表示を開始する

単画面、または多画面表示中にリモコンの [戻る] ボタンを押すとシーケンス表示が開始されます。

シーケンス表示を停止する

シーケンス表示中にリモコンの [戻る] ボタンを押すとシーケンス表示が停止されます。

カメラを操作する

単画面でカメラ画像を表示しているときに、以下のカメラ操作を行うことができます。
・パン／チルト ：カメラ画像の水平位置、または垂直位置を調節します。
・ズーム（光学）：カメラ画像を望遠表示、または広角表示します。
・フォーカス　 ：カメラ画像の焦点を調節します。

本機のパン／チルト／ズーム操作は、連続した動作を行なうことができません。
移動する被写体を追うような連続した操作は、本機の仕様上行えません。

お使いのカメラ機種によりカメラ操作ができないことがあります。
詳しくは、サポートサイトをご確認ください。サポートサイトについては、65 ページをお読みください。

パン／チルトを操作する

カメラ画像の水平位置、または垂直位置を調節します。
操作を行うカメラを単画面で表示します。
カメラを単画面で表示する方法は 47 ページをお読みください。
リモコンの［↑］［↓］ボタンを押して、チルト（垂直）位置を調節します。
リモコンの［←］［→］ボタンを押して、パン（水平）位置を調節します。

ズームを操作する

カメラ画像を望遠表示、または広角表示します。
操作を行うカメラを単画面で表示します。
カメラを単画面で表示する方法は 47 ページをお読みください。
リモコンの [ズーム] ボタンを押して、ズーム操作します。
＋：カメラの画像を望遠表示します。
－：カメラの画像を広角表示します。

フォーカスを操作する

カメラ画像の焦点を調節します。
操作を行うカメラを単画面で表示します。
カメラを単画面で表示する方法は 47 ページを参照してください。
リモコンの [フォーカス] ボタンを押して、フォーカスを調節します。
＋：カメラの焦点を遠くに調節します。
－：カメラの焦点を近くに調節します。
また、リモコンの [オートフォーカス] ボタンを押すと、自動で焦点を調節することができます。

■ 再生する

HDD に録画した画像を再生します（YS-1500/YS-2000 のみ）。
再生画像の一時停止や、高速再生ができます。
再生は再生画面より行います。

HDD が接続されていないときには、本画面は表示されません。

メニューを表示し「再生」を押すと再生画面が表示されます。
メニューの表示方法は 16 ページをお読みください。

再生画面について

再生画像表示エリア　　録画画像一覧

■年月日

再生を行う録画画像の年月日を選択します。
各項目を選択して [↑][↓] ボタンで値を変更して、[OK] ボタンで確定します。
－－表示されているときには、録画データがありません。

■カメラ選択

再生を行うカメラを選択します。
項目を選択して [↑][↓] ボタンで値を変更して、[OK] ボタンで確定します。
－－表示されているときには、カメラが選択されていません。

■開始時間 - 終了時間

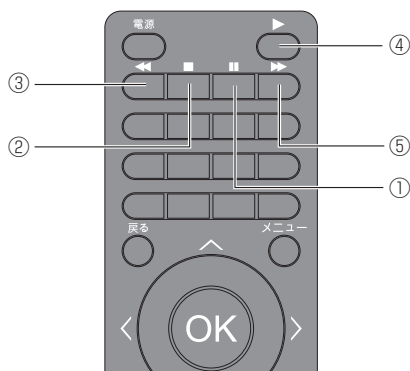
年月日、およびカメラ選択によって選択された範囲の録画画像の一覧が表示されます。

年月日、およびカメラが選択されていないときには、リストは表示されません。

該当の日付、およびカメラを選択しても、録画データが存在しないときには
リストは表示されません。

録画データが多いときに、再生画面を表示したり、日付を変更すると、数秒間、
操作ができなくなることがありますが、異常ではありません。

再生中の操作について

再生中の操作はリモコンのボタンを使って行います。
ここではその操作方法を説明します。

① **[一時停止]ボタン**：再生画像を現在の再生位置で一時停止して表示します。
② **[停止]ボタン**：再生を停止します。
③ **[早戻し]ボタン**：再生画像を早戻し再生します。早戻し再生中に操作すると再生速度を切り替えて再生します。
④ **[再生]ボタン**：再生画像を順方向に等倍再生します。
⑤ **[早送り]ボタン**：再生画像を早送り再生します。早送り再生中に操作すると再生速度を切り替えて再生します。

再生を開始する

開始時間 - 終了時間の録画画像一覧より、再生したい時刻を選択して [OK] ボタンを押します。
再生画像表示エリアに該当時刻の再生画像が表示されます。

[再生] ボタンを押しても再生を開始できます。

再生を停止する

再生中に [停止] ボタンを押します。
再生画像表示エリアの再生画像が表示されなくなります。

再生を一時停止する

再生中、早戻し再生中、または早送り再生中に [一時停止] ボタンを押します。
再生を再開するには [再生] ボタンを押します。

早戻し再生する

再生中に［早戻し］ボタンを押します。◁◁X2 再生が開始されます。
早戻し再生中に[早戻し]ボタンを押すと再生速度が ◁◁X2 → ◁◁X4 と切り替わります。
最大 ◁◁X8 再生ができます。

早送り再生する

再生中に［早送り］ボタンを押します。▷▷X2 再生が開始されます。
早送り再生中に[早送り]ボタンを押すと再生速度が ▷▷X2 → ▷▷X4 と切り替わります。
最大 ▷▷X8 再生ができます。

連続再生

再生画像の終了時刻になると、自動的に次の録画データの開始時刻から再生を行います（連続再生）。
録画された時刻に従い最大 1 日分の録画データを連続して再生できます。
早送り再生中は速度を維持したまま連続再生を行います。

早戻し再生中、連続再生は行いません。

録画ファイルのコピー（取り出し）について

本機の USB 端子に USB メモリー（別売り）を挿入して、本機の録画データファイルをコピーすることが出来ます。
USB メモリーを接続します。
コピーを行ないたいデータを［録画画像一覧］より選択します。
データを選択した状態で、［ファイルコピー］を押すと、コピーが開始されます。

コピーが完了すると完了メッセージが表示されます。
USB メモリーを取り外してください。コピーした録画データは、PC にて再生することができます。

コピー中は本機の操作ができません。

コピーに要する時間は、ファイル内容により時間がかかります。
1GB あたり 5 分程度で、ファイルによっては数十分かかる場合もあります。

USB メモリーは初期化（フォーマット）してからご使用ください。
正しく録画データのコピーが行なえないことがあります。
また、本機以外のデータが残っている USB メモリーを使用したときには、記録した情報が消失する可能性があります。

PC にて録画データを再生するには、拡張子 mov、または m4v に対応したコーデック、及び動画プレーヤーが必要です。

USB メモリーは FAT32 で初期化（フォーマット）してからご使用ください。
正しく設定データのセーブが行えないことがあります。
また、本機以外のデータが入っている USB メモリーを使用したときには、記録した情報が消失する可能性があります。

USB 端子や本機に無理な力をかけないでください。破損の原因になります。

USB ポートは端子の向きを確認して正しく接続してください。

録画画像一覧の表示について

録画画像の一覧表示には再生画面を表示したときに正しく録画されている時間のみ表示されます。
以下のような録画画像は表示されません。

■カメラと通信ができなかったときの画像。
■不正規に本機の電源を切ったときの画像（最大 1 時間分）。
■ HDD と通信ができなかったときの画像。
■本機の電源が切れているときの画像。
■ HDD の容量が不足したことにより、上書きされた画像。

録画を行ったあとに、本機の日時を過去の時刻に戻すと、
録画データの上書きが最古のデータから行われません。

付録

設定項目一覧

表示設定

設定項目	値	初期設定値
表示位置	ーー、1 ～ 8	ーー
情報表示	する／しない	する
多画面分割	4 分割／ 9 分割／ 8 分割／ 2 分割／ 6 分割A ／ 6 分割B	9 分割
シーケンス（表示画面）	多画面／単画面	多画面
シーケンス（表示間隔）	5 ～ 60（秒）	10（秒）

録画設定

設定項目		値	初期設定値
カメラ名		任意	ーー
録画方法		連続（常時）／スケジュール	連続（常時）
録画容量節約		しない／する	しない
スケジュール	曜日	月、火、水、木、金、土、日	日
	開始時間	00:00～24:00（30分単位）	09:00
	終了時間	00:30～翌08:00（30分単位）	19:00

再生

設定項目	値	初期設定値
年	ーー、録画した年	ーー
月	ーー、録画した年に順ずる月	ーー
日	ーー、録画した年月に順ずる日	ーー
カメラ選択	ーー、カメラ名	ーー
開始時間 - 終了時間	録画した時間の一覧	なし

カメラ設定（詳細設定）

設定項目	値	初期設定値
カメラ名	任意	なし
ユーザー名	任意	パナソニック カメラ BB：admin00 i-pro および BB-S：admin SONY：admin AXIS：root CANON：root JVC ケンウッド：admin ELMO：admin TOA：admin
パスワード	任意	パナソニック カメラ BB：admin11 i-pro および BB-S：12345 SONY：admin AXIS：admin11 CANON：admin11 JVC ケンウッド：jvc ELMO：elmo TOA：guest
IP アドレス	任意	なし
ポート番号	80, 1024 ～ 65535	80
配信フォーマット	M-JPEG ／ H.264	M-JPEG
フレームレート	5、10、15、20、25、30	10
画像サイズ	320 × 240, 640 × 360, 640 × 368, 640 × 480, 1280 × 720, 1280 × 960, 1920 × 1080 480 × 270、960 × 540	640 × 480
日時表示	する／しない	する
上下反転	する／しない	しない

本体設定

設定項目	値	初期設定値
IP アドレス	任意	192.168.0.12
サブネットマスク	任意	255.255.255.0
ゲートウェイ	任意	192.168.0.1
日時	（設定範囲 2011/1/1 ～ 2030/12/31）	現在日時
管理パスワード	任意	11111
H.264 リフレッシュ	しない／ 00:00 ～ 23:30（30 分単位）	しない
電源メニュー表示	する／しない	する
音声出力先	HDMI ／ミニジャック	HDMI

故障かな ?! と思ったら

修理をご依頼される前に、この表で現象・症状をお確かめください。

これらの対策をしても直らない時や分からない時、この表以外の現象・症状が起きた時または工事に関係する内容の時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象・症状	原因・対策	参考頁
電源が入らない	電源プラグがACコンセントに確実に接続されているか、確認してください。	
	付属のACアダプタ、電源ケーブルが、本体に確実に差し込まれているか、確認してください。	
モニターにカメラ画像が表示されない	カメラのレンズキャップが外れているか、確認してください。	
	カメラや接続機器の電源が入っているか、確認してください。	
	ケーブルは正しく接続されているか、確認してください。	
	モニターの輝度調整、コントラスト調整が正しく設定されているか、確認してください。	
画面が欠けて表示される	モニターの表示／領域のばらつきによるもので、故障ではありません。	
画面がぼやける	カメラのレンズにゴミやほこりが付着していないか、確認してください。	
	カメラのフォーカスがあっているか、確認してください。	51
録画できない	録画設定されているか、確認してください。	24
	スケジュールは正しく設定されているか、確認してください。	25
モニターに表示されるカメラの画像、文字がブレて見える	映している被写体や、接続している HDMI モニターによっては、画像、文字がブレて見えることがありますが、機器仕様によるもので、故障ではありません。	
再生できない	画像が録画されているか､HDD内に録画された画像があるか､確認してください。	52
	録画したデータの保存されている HDD が接続されているか、 HDD の接続と、HDD 内に録画された画像があるか、確認してください。	15
再生操作しても動作しない	極端に時間の短いデータを再生したときなどに再生操作ができなくなることがあります。 再生を一度停止してから、再度再生を行ってください。	
再生画面のカメラ選択でカメラ名ではない値が表示される	本機にて録画を行ったカメラを登録削除していませんか？ 登録削除されたカメラのカメラ名は、本機独自の文字列で表示されます。 本機の仕様であり、異常ではありません。 カメラ選択で文字列を選択すると、該当の録画データの再生ができます。	
時刻がずれる	内蔵バックアップ電池が十分充電されていない可能性があります。 48 時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。	
	内蔵バックアップ電池が消耗している可能性があります。 内蔵バックアップ電池の消耗目安は 5 年です（寿命は使用条件によって短くなることがあります）。	
数秒間、録画されていないことがある	お使いのネットワーク環境により、カメラとの接続が不安定になっていないか、確認してください。 ネットワーク環境を見直してください。 また、録画するカメラのフレームレートや画像サイズを下げることで改善することがあります。	29
HDD を接続して、「録画設定」や「再生」が押せる状態になっているのに録画されない	推奨品以外の HDD を接続していないか、確認してください。	65
	HDD が EXT4 でフォーマットされているか、確認してください。	
録画画像に音声がない	本機は画像の録画のみで、音声の録音は致しません。	44

現象・症状	原因・対策	参考頁
リモコンで操作ができない	乾電池が入っているか、確認してください。	
	乾電池が消耗していないか、確認してください。	
	乾電池の＋と－の向きが間違っていないか、確認してください。	
	本体のリモコン受光部に向けて操作してください。 また、受光部に日光などの強い光が直接当たらないように設置してください。	
	リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）などがないか、確認してください。	
電源ケーブルの被覆が傷んでいる	電源ケーブル・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態で使い続けると、感電または火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	
使用中、電源ケーブル・コネクター・電源プラグの一部が熱い		
使用中、電源ケーブルを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする		
パナソニック BB シリーズのカメラにおいて、カメラ設定ができない	カメラの CGI コマンドインターフェース設定を「ブラウザからの設定のみ禁止」、または「設定を許可」に設定してください。 詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。	
長期間電源を抜いた状態にしていたなどで、起動画面で停止してしまい起動しない	リモコンから [電源] ボタンを押して再起動させてください。 再起動後は本機の現在時刻を再度設定してください。 それでも起動しない場合は、本機の内蔵バックアップ電池の交換が必要です。 販売店までお問い合わせください。	
画面がずれて表示されたり、はみ出して表示される	お使いのモニターまたは、モニターとの接続ケーブルが、本機が必要とする仕様を満たしてない可能性があります。 弊社推奨品以外の映像分配器やディスプレイ延長器が接続されてないか、確認してください。 本機に対応のモニターで正しく表示されない場合は、モニターやケーブルが故障している可能性があります。	13
画面が表示されない	お使いのモニターや、モニターとの接続ケーブルが本機に対応されていない可能性があります。 本機に対応のモニターで正しく表示されない場合は、モニターやケーブルが故障している可能性があります。	13
再生画像が正しく更新されない	ご使用の環境・設定により、本機の性能を超えたときに、再生画像が正しく表示されない場合があります。カメラの画像サイズや、フレームレートを下げることで改善できます。	29
ライブ音声が出力されない	①お使いのカメラは弊社指定の音声対応カメラですか？本機では、Panasonic の i-pro シリーズの一部カメラの音声出力に対応しています（最新の情報はサポートサイトをご確認ください） ②音声出力させたいカメラは単画面、または多画面の左上に表示されていることを確認してください。 ③情報表示設定を「する」にしたときに音声マーク（♪）が表示されていることを確認してください。表示されていない場合、カメラの音声設定が正しく行なわれているか確認してください。表示されている場合は、音声出力設定が正しい出力先に設定されているか、または出力先の音量が正しく設定されているか確認してください。	37 44
	YS-1500 はライブ音声に対応しておりません。	3
	YS-2000MC にて、カメラのマルチキャスト配信をモニタリングする場合は、音声は出力されません。	3
マルチキャストの映像が表示されない	お使いのカメラは弊社指定のマルチキャスト対応カメラですか？ 本機では、Panasonic i-pro シリーズの一部、SONY、AXIS および JVC ケンウッド の一部のカメラのマルチキャスト配信に対応しています（最新の情報はサポートサイトをご確認ください）	
	PC にて、対象のカメラにアクセスし、マルチキャスト配信が出来るように設定をする必要があります。	34
	マルチキャストの映像は、YS-2000MC でのみ取得できます。	

エラーメッセージと対応方法

エラーメッセージ	原因と対策
表示位置が重複しているカメラがあります もう一度確認して、設定保存を行ってください	同じ表示位置に設定されているカメラが複数ある場合は、設定保存できません。
スケジュールの時間が重複しています もう一度確認して、設定保存を行ってください	同じ時間帯に設定されているスケジュールが複数ある場合は、設定保存できません。
録画データの再生中にエラーが発生したため再生できません	録画データが、上書きにより削除された可能性があります。 上書きされた録画データは再生することはできません。 また本機以外で再生ファイルを操作した場合は正しく再生できなくなることがあります。 本エラーが多発する場合、HDD が故障している場合があります。 ご使用の環境・設定により、本機の性能を超えたときに、本エラーが表示されることがあります。 カメラの画像サイズや、フレームレートを下げることで改善できます。
カメラ名を空欄にすることはできません カメラ名を入力して、設定保存を行ってください	カメラ名には 1 文字以上設定してください。
カメラのネットワーク設定が正しくありません もう一度確認して、設定保存を行ってください	カメラのネットワーク設定には以下は設定できません。 **IP アドレス** ·255 を超える値 · ネットワークアドレス · ブロードキャストアドレス · クラス D/ クラス E · ループバックアドレス · 本機の IP アドレスと同じアドレス · 本機のゲートウェイと同じアドレス · 以下の IP アドレス 192.168.0.10 192.168.0.90 192.168.0.253 192.168.100.1 192.168.0.2 192.168.14.1 0.0.0.0 **ポート番号** · 80、1024 ～ 65535 以外の値
カメラの設定に失敗しました カメラやHUBの接続を確認して、 もう一度設定保存を行ってください	以下を確認してください。 · カメラの電源が入っていること。 · カメラの LAN ケーブルが接続されていること。 · ハブの電源が入っていること。 · ハブの LAN ケーブルが接続されていること。 · カメラのユーザー名、パスワードが正しいこと。 · カメラが BB で始まる品番の場合は、カメラの CGI コマンドインターフェース設定を「ブラウザからの設定のみ禁止」、または「設定を許可」に設定してください。 · 変更しようとしたIPアドレスがすでに他の機器で使用されていないこと。 · カメラに設定できない値でないこと。 詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

エラーメッセージ	原因と対策
カメラの登録に失敗しました カメラや HUB の接続を確認して、 もう一度登録を行ってください	以下を確認してください。 ・カメラの電源が入っていること。 ・カメラの LAN ケーブルが接続されていること。 ・ハブの電源が入っていること。 ・ハブの LAN ケーブルが接続されていること。 ・カメラのユーザー名、パスワードが正しいこと。 ・カメラが BB で始まる品番の場合は、カメラの CGI コマンドインターフェース設定を「ブラウザからの設定のみ禁止」、または「設定を許可」に設定してください。
かんたん設定に失敗しました カメラ設定にてエラーになった カメラを確認してください	以下を確認してください。 ・カメラの電源が入っていること。 ・カメラの LAN ケーブルが接続されていること。 ・ハブの電源が入っていること。 ・ハブの LAN ケーブルが接続されていること。 ・カメラが初期化されていること。
日時設定が正しくありません もう一度確認して、適用を行ってください	日時が使用可能な範囲で設定されていることを確認してください。
ネットワーク設定が正しくありません もう一度確認して、設定保存を行ってください	ネットワーク設定には以下は設定できません。 **IP アドレス** ·255 を超える値 ・ネットワークアドレス ・ブロードキャストアドレス ・クラス D/ クラス E ・ループバックアドレス ・既登録カメラと同じアドレス ・以下の IP アドレス 192.168.0.10 192.168.0.90 192.168.0.253 192.168.100.1 192.168.0.2 192.168.14.1 0.0.0.0 **サブネットマスク** ·255 を超える値 ・不正なサブネットマスクの値 ·255.255.255.255 ·255.255.255.254 **ゲートウェイ** ・オクテット単位で 255 を超える値 ・ネットワークアドレス ・ブロードキャストアドレス ・クラス D/ クラス E ・ループバックアドレス ・変更後の本機の別ネットワーク ・変更後の本機の IP アドレスと同じアドレス ・既登録カメラと同じアドレス ・以下の IP アドレス 0.0.0.0 192.168.0.10 192.168.0.90 192.168.0.253 192.168.100.1 192.168.0.2 192.168.14.1

エラーメッセージ	原因と対策
管理パスワードは5桁で入力する必要があります もう一度確認して、設定保存を行ってください	管理パスワードは0〜9の数字5桁で入力してください。
シーケンス表示間隔設定が正しくありません もう一度確認して、設定保存を行ってください	シーケンス表示間隔設定には 5 〜 60 の秒数を数値で設定してください。
ユーザー名とパスワードを空欄にすることはできません ユーザー名とパスワードを入力して、設定保存を行ってください	ユーザー名、およびパスワードには 1 文字以上入力してください。
設定データのセーブに失敗しました	以下を確認してください。 ・USB メモリーが正しく挿入されていること。 ・USB メモリーがロックされていないこと。 ・推奨品の USB メモリーを使用していること。
設定データのロードに失敗しました	以下を確認してください。 ・USB メモリーが正しく挿入されていること。 ・USB メモリーに本機の設定データがあること。 ・推奨品の USB メモリーを使用していること。
バージョンアップに失敗しました	以下を確認してください。 ・USB メモリーが正しく挿入されていること。 ・USB メモリーに本機のファームウェアがあること。 ・推奨品の USB メモリーを使用していること。 ・ファームウェアのコピー先がルートフォルダー直下であること。 ・ファームウェアのファイル名が正しいこと。
管理パスワードが正しくありません	管理パスワードを確認して、正しいパスワードを入力してください。
HDD との通信に失敗しました USB ケーブルの接続や HDD の電源を確認してください	以下を確認してください。 ・HDD が正しく USB 接続されていること。 ・HDD の電源が入っていること。 ・推奨品の HDD を使用していること。 本エラーが多発する場合、HDD が故障している場合があります。
初期化を行なう HDD が見つかりません USB ケーブルの接続や HDD の電源を確認してください	以下を確認してください。 ・HDD が正しく USB 接続されていること。 ・HDD の電源が入っていること。 ・推奨品の HDD を使用していること。
初期化を行なう HDD は録画中です 録画を停止してから、再度初期化を行なってください	録画中は HDD 初期化はできません。 録画設定より録画を一度停止してから再度初期化を行なってください。
HDD の初期化に失敗しました USB ケーブルの接続や HDD の電源を確認してください	以下を確認してください。 ・HDD が正しく USB 接続されていること。 ・HDD の電源が入っていること。 ・推奨品の HDD を使用していること。

用語集

用語	意味
EXT4	信頼性の高い、ファイルシステムのひとつです。
H.264	高解像度（HD）デジタルビデオのための規格です。 H.264規格に準拠した設定でビデオ圧縮した場合、MPEG-2（DVDの規格）の約半分の容量で作成することができます。
HDD	ハードディスクドライブの略称です。本機では外付け HDD に画像データを録画します。
M-JPEG	動画の録画方式の一つで、各フレームごとの画像を JPEG 圧縮したものを連続して録画しています。
PoEハブ	Power over Ethernet 。LAN ケーブルから電源を供給できるハブのことです。
RJ-45	ケーブルをつなぐコネクター形状の一つです。本機では Ethernet ケーブルを接続するときに使います。
Well-known Port	TCP/IP の主要なプロトコルで使用されているポート番号のことです。
G.726	音声コーデックの規格のひとつです。

仕様

基本仕様

■主な定格

登録カメラ台数	最大８台（録画は最大 8 台）	
表示能力	画像サイズ　：　1920 × 1080　カメラ 4 台 画像サイズ　：　1280 × 960 ～ 960 × 540　カメラ 6 台 画像サイズ　：　640 × 480 ～ 320 × 240　カメラ 8 台 ※環境により異なります。	
表示レイアウト	単画／単画×８シーケンス 2分割／2分割×４シーケンス 4分割／4分割×２シーケンス 6分割Ａ／6分割Ｂ 8分割／9分割	
モニター	出力端子	HDMI × 1　または　VGA（HD-Dsub15pin）× 1　択一
	最大解像度	1920 × 1080（フル HD）
録画	録画カメラ台数	8 台（YS-1500 は 4 台）
	録画先	USB2.0で接続された推奨HDD
	ファイルシステム	Ext4
	録画日数	特定条件下でカメラ8台×30日分（HDD2TB接続時）
LAN ポート	RJ-45　100／1000BASE-T	
動作温度	0～40℃	
電源	DC19V（専用ＡＣアダプター　AC100～240V　50/60Hz）　65W以下	
寸法	本体　26㎜×190㎜×150㎜　（スタンド含まず）	
重量	1,550g　（ACアダプタ含まず）	

■対応カメラ（2015 年 10 月現在）

メーカー	シリーズ	機種
Panasonic	カメラ BB	BB-HCM100、110、511、515、531、527、547、580、581、701、705、715、735、BB-SC384、ST162、ST165、SW172、SW175、SW174W、SW174WA、SW175A、SW172A、ST162A、ST165A、SC384A、BB-SP104W
	i-pro	DG-SP102、SP304V、SP305、NP244、NP304、NP502、NW502S、SF334、SF335、NF282、NF282WD、NF302、NS202A、SW355、SC385、 SW395(J)、SF132、SF135、SW155、SP509(J)、SW559、NW960、SW396(J)、SW314(J)、SW316(J)、SW316L(J)、SC386、SF539、GXE100、SW395A(J)、SW396A(J)、SF438、SW458、WV-SC588、SF138、SW158、SW598J、SFN611L、SFN631L、SFV611L、SFV631L、SFV631LT、SPN631、SPN611、SFV311、SFN311、SFN310J、SPN311、SPN310V、SPW631LTJ、SPW631LJ、SPN531、SPW310、SPW611LJ、SPW611J、WJ-GXE500
AXIS		M1011、M1054、M1103、M1104、M1113、M1114、P1311、P1343、P1344、P1346、M3011、M3014、M3203、M3204、P3301、P3304、P3343、P3344、M5013、M5014、M7001、M3113-R、M3114-R、M3113-VE、M3114-VE、M2014-E、P1353、P1354、P1355、P1204、P1214、M3006-V、Q7404、Q1602、Q1604、P3353、P3354、P3363-V、P3363-VE、P3364-VE、P3364-LVE、P3364-V、P3364-LV、P3346、P5512、P5522、P5532、P5534、P3384-V、P3384-VE、Q7401、P1405、Q1765、Q8414、M1144、M3024
SONY		SNC-CH110、120、140、160、180、210、220、240、260、280、SNC-DH110、120、140、160、180、210、220、240、260、280、VB600B、EB600B、CX600W、VM600B、VB600、VM630、VM600、EB600、EM600、ZB550、ZM550、EB630B、RS86N、VB630、EB630、EM630、EM602R、EM632R、VM632R、CX600、VM602R、XM631、WR632、WR630、XM632、VB635、WR600、WR602、EB632R、EB602R、SNT-EX101E、EX104
CANON		VB-H41、M40、C60、H610VE、H610D、H710F、M600VE、M600D、M700F、C500D、S800D、S30D、S31D、S900F、S805D、S905F、M42、M42B、H43、H43B、M620VE、M620D、H630VE、H630D、M720F、H730F、R10、R11、M640、M740、M641、M741
ELMO		ESN-H2300、H2500VP、H8500WP、H9500、H2500、H9300
JVCケンウッド		VN-H137、H237、H37、H57、H257、H257VPC、H157WP
TOA		N-C3100-3、N-C3120、N-C3120-3、N-C3200-3、N-C3220-3、N-C3420-3、N-C3420R3、N-C3500、N-C3700、N-C3820-3

本機とカメラを直接無線で接続することはできません。

各対応カメラについて、注意事項がある機種があります。最新の情報はサポートサイトをご確認ください。

最新の対応カメラについては、サポートサイトをご確認ください。

サポートサイトについては 65 ページをお読みください。

保証とアフターサービス

保証書（本書巻末）

・保証書は、本書の巻末に「ご購入日・販売店名」などをご記入の上、大切に保管ください。
・保証期間は、ご購入日から 1 年間です。保証書にご購入日の記載がないときは、製造年月日より 1 年間です。

使い方や修理のご相談など

・修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

「故障かな ?! と思ったら」（58 ページ）をご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、ご使用をやめて電源を切り、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

・**品名**：ネットワークカメラモニタリングユニット
・**型名**：YS-2000 または YS-1500
・**お買い上げ日**：年月日
・**故障の状況**
・**使用している周辺機器（カメラ・HDD など）**
・**ご住所・お名前・電話番号**

■保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。規定に従いまして修理させて頂きます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用出来る場合には、ご希望により有料で修理させて頂きます。

お客様ご相談窓口のご案内

サポートサイトのご案内

http://aileunsys.co.jp/b20_aileun2.html

お客様ご相談窓口

0120-377-707
☎ 045-933-4566 [携帯・IP電話]
受付時間：月曜～金曜　9:00 ～ 17:00（祝祭日等を除く）

〈無償修理規定〉

1．取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にて、無償修理の受付をさせて頂きます。

2．保証期間内でも、次の場合には有償修理となります。
（1）本書の提示がない場合
（2）本書に記入漏れがある場合、または字句が書き換えられた場合
（3）使用上の誤り、他の機器から受けた損害、または特殊な設置環境、不当な修理やシステムの変更・改造による故障・損傷
（4）火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公害、異常電圧、定格外の使用電源などによる、故障及び損害
（5）ご購入後の設置場所の移動、または落下などによる故障・損害
（6）消耗品の交換費用

3．故障その他による営業上の機会損失などの補償は致しかねます。

4．修理の際にお預かりしたデータ、メモリーは喪失することがありますので、あらかじめご了承ください。

5．本書は日本国内においてのみ有効です。

ネットワークカメラ モニタリングユニット保証書

<table>
<tr><td colspan="2">型名 □ YS-1500 □ YS-2000
□ YS-2000M □ YS-2000MC</td><td>製造番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td colspan="2">お名前（ふりがな） 様 電話</td></tr>
<tr><td colspan="2">〒
ご住所</td></tr>
<tr><td colspan="3">取り扱い販売店名・住所・電話番号</td></tr>
<tr><td colspan="3">保証期間 お買い上げ日
年 月 日より１年間。ただし、消耗品は除く</td></tr>
</table>

株式会社　エルーア・システム
〒224-0057　神奈川県横浜市都筑区川和町268番
http://aileunsys.co.jp

NSI2000PA1C